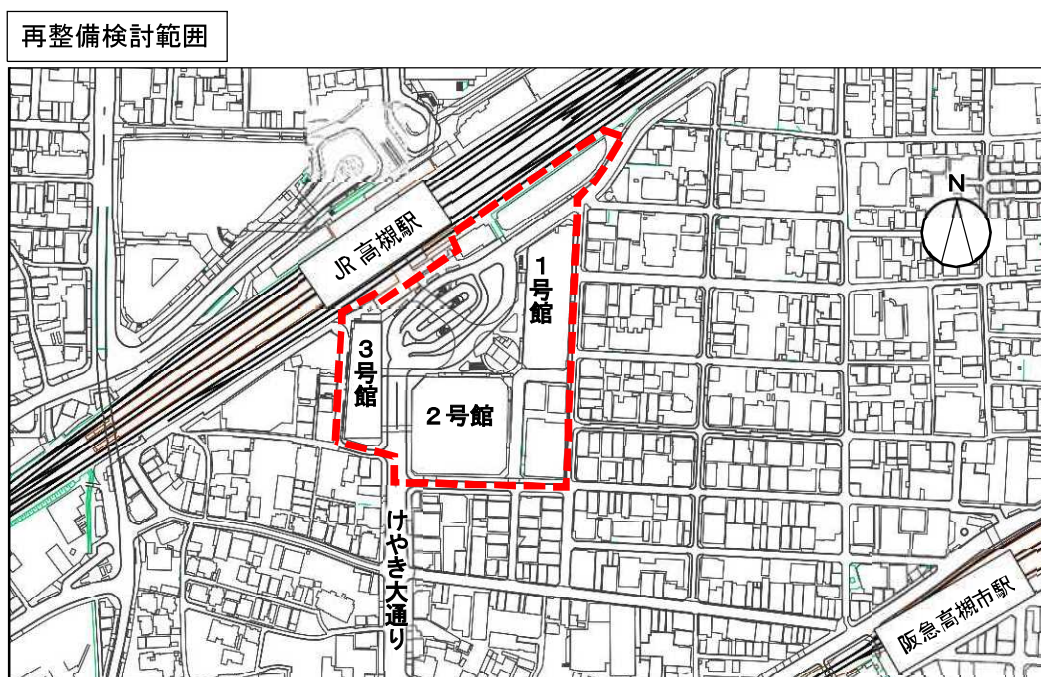


2 JR高槻駅南地区の再整備について

2-1 権利者等による取組

(1) これまでの経過

JR高槻駅南地区は、昭和40年代に入り30万人を超える本市の人口急増期に対応した駅前都市機能の整備を目的として、昭和45～54年にかけて本市初の再開発事業が実施された。現在、再開発から40年以上が経過し、施設の老朽化や空き店舗の増加によるにぎわいの低迷が顕在化し、平成28年には地権者による再整備に向けた検討が開始された。



年月	主な取組
平成28年11月	JR高槻駅南地区の今後のあり方に関する検討会 発足
令和3年7月	JR高槻駅南地区まちづくり協議会 設立 ⇒権利者等で構成、地区の再整備に向けた調査・検討を実施。 JR高槻駅南地区のまちづくりの方向性等検討会 設置 ⇒有識者等で構成、再整備の方向性等の検討を実施。

(2) 準備組合の設立に向けた動き

今年度に入り、JR高槻駅南地区まちづくり協議会が再開発事業を具体的に検討していくことについて、地権者アンケートや準備組合の設立に向けた説明会を開催し、今年度中を目途に「JR高槻駅南地区市街地再開発準備組合」の設立に向け取り組まれている。

2-2 今後の取組

JR高槻駅南地区の再整備について、今年度中を目途に事業主体となる準備組合の設立に向け取り組まれていることから、当該地区が中核市高槻の玄関口にふさわしい魅力と風格をもつものとなるよう引き続き地権者組織の取組を支援する。